

- 01-04 特集 素朴な画家たち

- 05-06 松竹大歌舞伎 義経千本桜のクライマックス

- 07-08 真樹ナビvol.02 みんなで踊ろう! かすがいうずうず音頭

- 09-10 SERIES 映画・邦楽・落語

- 11 FOCUS 自分史フェスタ

- 12 COMING SOON!

- 13 voice お客さまの声、から

- 14 最近、こんなを読んでいます / information from PiPi





1 ルソーといえば、幻想的なジャングルの絵。 フランスから出たことのない彼は、 パリの公園の中にジャングルを見ていた?!

《散歩 (ビュット=ショーモン)》 1908年頃 油彩・カンヴァス 46.2×38.4cm

ビュット=ショーモン公園は、採石場跡を人工的に造園して、1867年のパリ万博にあわせて開園されました。針葉樹や低木が丁寧に描き分けられ、画面左下には人工洞窟の入口が見えます。ルソーは、植物園や郊外に出かけるのが大好きでした。植物が醸し出す雰囲気をつかみ、葉の一つひとつまで描く独特の観察力を持ち、「木を描く名人」と言われたルソー。だからこそ、フランスから出たことがないにも関わらず、傑作《夢》に代表される、息詰まるようなジャングルを描けたのです。パリ郊外を描いたこの風景画も、ルソーの真骨頂である鬱蒼とした緑の神秘を伝えてくれます。



《夢》 1910年 ニューヨーク近代美術館蔵

特集 素朴な画家たち



ピカソも認めた! 出品作4点から見る ルソー、その探求。

素朴派の原点、アンリ・ルソー。現在では教科書にも掲載される有名画家ですが、パリの入市税徴収員として働き「日曜画家」であった頃は、もちろん無名でした。一見稚拙に見える技法は嘲笑的となったこともありましたが、観察を重ね、几帳面に描かれるその独特の絵に、惹きつけられる人々が現われてきたのです。当時、ルソーが何を見て、人々とどのように交わっていたのか、絵を通してその「関係性」を見てみましょう。

2 パリの風景を愛したルソー。 セーヌ川の中州を描いた この絵は、彼の職場だった!

《サン=ニコラ河岸から見たシテ島》

1887-88年頃 油彩・カンヴァス 46.0×55.0cm

セーヌ川中州のシテ島は古い歴史を持ち、ノートルダム大聖堂がある「パリ発祥の地」です。幻想的な夜の光の中に描きだされた、シートをかぶった貨物と立ち番の制服の男。この荷揚げ場こそ、「税官吏(ドワニエ)・ルソー」の職場。厳密に言えば、彼はドワニエではなく、パリに入る荷物を見張り税金を徴収する下級吏員でした。ルソーの作品には、慣れ親しんだ自らの職場・入市税関を描いたものがいくつかありますが、これは、そのうちの優品の一つです。

現在のシテ島。西側(セーヌ川下流)から望んだ風景。



《戦争あるいは戦争の惨禍》

1894年 リトグラフ・紙 27.0×38.7cm

ヨーロッパ列強各国がしのぎを削っていた当時の世相を感じ取ったのでしょうか、1894年、ルソーは油彩画《戦争》を展覧会に出品します。木々の枝は折れ、剣と松明を掲げ馬に伴走する女の子の足元には死体が積み重なり、それを鳥が啄ばむ恐ろしい土地に変貌しています。ルソーは、「もし王様が戦争をしたいというなら、その母親がやめさせなければならない」と主張した平和主義者でした。才気あふれる若き詩人ジャリは、その絵を高く評価し、自らが発行する雑誌『リマジエ』に掲載するため、ルソーに《戦争》を元にした版画を依頼しました。それが、本展出品の《戦争あるいは戦争の惨禍》です。ルソーと若き芸術家の交流を示す作品としても重要です。



《戦争》 1894年 オルセー美術館蔵

3

ルソーの人生の中で、とても重要な作品!
詩人・劇作家のアルフレッド・ジャリが
雑誌掲載のために依頼した、ルソー唯一の版画作品。

死ぬまで恋をし続けたという、ルソー。
その恋敵までも描いてしまうルソーは、
まさに“素朴”で“純粹”な人柄だった!

4

《フリュマンヌ・ピッシュの肖像》 1893年頃 油彩・カンヴァス 92.0×73.0cm

ルソーは最初の妻と死別した後、再婚しましたが、悲しいことに彼女にも先立たれてしまいます。「不幸にして、二人の妻と六人の子供を失いました。(絵画の)仕事だけが私を勇気づけなかったとしたら、私は今、どうなっていたでしょう!」と書いた手紙が残っています。愛情深いルソーは、晩年も50代の女性に恋をし、その女性の父親に結婚を許してもらうため「優秀な画家であるという証明書」を友人に頼んだとか。この絵に描かれているピッシュ氏は、パリの警官。ルソーが片思いをしていたマリーがピッシュ氏と結婚したため、ピッシュは「恋敵」でもありました。しかし、結婚のわずか1年後に彼が亡くなり、ルソーはマリーを励まそうと、この肖像画を描きました。ルソーの温かい人柄が偲ばれる作品です。



世田谷美術館コレクションによる アンリ・ルソーと素朴な画家たち いきること えがくこと

～3/18(日) 9:30～17:00

金曜日のみ20:00まで(入場は30分前まで) 月曜休館

| 文化フォーラム春日井・ギャラリー



【料金】一般 ¥500

PiPi会員・学生(高校生以上)・団体(20名以上) ¥400

中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方とその介護者1名 無料

【助成】財団法人地域創造

ギャラリートーク

2/25(土)、29(水)、3/7(水) 14:00～(30分程度) | 展覧会入場料のみ必要

世田谷美術館からやってきました!

鑑賞リーダーと一緒に遊んじゃおう!

3/17(土) 13:00～16:00 (受付は15:00まで)

【参加費】鑑賞リーダーによる展示ガイド 無料(展覧会入場料のみ必要)

ワークショップ ¥100(展覧会入場料別)

えんぴつで模写! ①3/3(土) ②3/10(土) 17:30～20:00

【参加費】 ¥500 【参加方法】 講座名(希望日)・〒・住所・氏名・年齢(学年)・性別・電話番号を記入の上、はがき、FAX、メール(ws@lib.city.kasugai.aichi.jp)にて申込み。

【締切】 2/15(水) 【定員】 各回15名、3/3(土)は高校生以上、3/10(土)は小・中学生対象。

素朴な画家たちと、 彼らの理解者にまつわる 3つのストーリー

絵画を楽しむ… 作品と真正面から向かいあって得られる知的好奇心もありますが、背景を知ることで新たな発見を得られることもあります。画家たちが生きた時代、そこはどんな様子だったのか？ そして、どんな人々と出会い、関わっていったのか？ 作品づくりにどんなサポートを得ていたのか？ 知ること得られる、より深い絵画の見方を、3つのストーリーから。

セラフィヌ・ルイと収集家/美術批評家ウーデ

ウーデは、キュビズム以降の画家たちを積極的に紹介した、収集家であり美術史の専門家。彼は、セラフィヌ・ルイが家政婦として働く家に偶然引っ越してきます。セラフィヌ・ルイは守護天使から絵を描くよう啓示を受け、導かれるように描いていました。彼女の絵に衝撃を受けたウーデは、創作活動をサポートします。二人の友情は経済破綻とともに壊れますが、ウーデがいたからこそ、彼女の作品を今日も見ることができるのです。



配給：アラン・ネテラン ©TS Productions/France 3 Cinema/Climax Films/RTBF 2008



山下清 12歳頃 (『山下清とその仲間たち』より)

山下清と安井曾太郎

山下清にもっとも深くかかわった美術家は、洋画家の安井曾太郎でした。この話をすると美術研究者でさえ「えっ」と驚くのですが、事実です。太平洋戦争前のことです。ある展覧会で山下作品を見た安井は、「思うままに、この様な美しいものを作りつつある清君がうらやましくなった」といいます。その後、作品集のための作品選定を引き受けるなど、真剣に山下を応援したのです。山下が天才なのかどうかが大問題となりました。安井、梅原龍三郎、藤島武二らが肯定側、川端龍子や哲学者の谷川徹三らが否定側に。さらに評論家の小林秀雄が否定の意見を表明し、議論が白熱。しかし、山下本人にとって、そんな議論は他人事、しばらくして自分を育ててくれた障がい児施設を飛び出してしまいます。目的は自立のための就活でした。こうして彼の放浪時代が始まるのです。(三頭谷鷹史)



晩秋 1940-56年 ©清美社



パブロ・ピカソ

ルソーとピカソの不思議な関係 —— ささやかな「芸術のタベ」

新しい時代へ社会全体が転換期を迎えていた1900年前後、それは同時にまさにパリの芸術運動が目まぐるしく変わろうとしていた時期でした。このパリに導かれたかのようにやって来るのが、若き日のピカソです。彼を中心に、それからパリの美術界は大きくうねり始めるのですが、この当時のモダニズムの流れとはまた別のところで、ピカソと関わる実に不思議なスポットができていました。不思議なスポット？ それこそがアンリ・ルソーの立ち位置なのです。ピカソ、ローランサン、ブランクーシ等20世紀を代表する画家たちやアポリネール、ジャリといった詩人たちが、愛情を持ってからかいながらもルソーを讃え、認めた場所でもありました。プロのピカソと素朴なルソー、パリの片隅にできたこの素晴らしい組み合わせと当時の芸術家たちの情熱を、やがて時代は知ることになります。(江本菜穂子)



アンリ・ルソー

マリー・ローランサン

芸術講座 聖なる心の画家たちとそれを見つめた眼差し

- 第1回【講座】宿命の画天使 — 山下清物語 —
1/28(土) 14:00~16:00 [講師]三頭谷鷹史(名古屋造形大学教授)
 - 第2回【映画】セラフィヌの庭 フランス・ベルギー・ドイツ 2008年 126分
2/4(土) ①10:00~ ②14:00~
 - 第3回【講座】パリに咲いた友情と芸術 — ルソーとピカソと仲間たち —
2/18(土) 14:00~16:00 [講師]江本菜穂子(名古屋造形大学教授)
| 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
- [料金] 一般 通し券¥2,500、各回¥900 PiPi会員 通し券¥2,200、各回¥800
全自由席、当日券同額、未就学児不可
[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約、春日井市東部市民センター

素朴派の名画、たーんと召しあがれ

美術宣伝担当の林が、
一足お先に
スペシャルランチを
いただきました!!

展覧会「アンリ・ルソーと素朴な画家たち」の出品作3点が、スペシャルランチへ大変身!
ホテルプラザ勝川 大鹿洋食料理長考案、フレンチベースの“食べられる名画”を、一足お先にいただきました。

美術宣伝担当
林祥恵



セラフィヌ・ルイ《枝》
1930年

セラフィヌ・ルイの《枝》が、10種類の野菜を使ったオードヴルへ。 気になる野菜がいっぱい!!

グジョール(野菜&チーズ入りシュー)とプチトマトとサーモンのファルシ(詰め物) 枝に実った果実たち



ココに注目!

枝に見立てたアスパラガスに実った、色とりどりの野菜たち。セラフィヌの色鮮やかな世界が再現されています。私の一押しは、フルーツみいたいな甘味のほおずき(写真手前)。目でも楽しめるビタミン豊富な一品からコースはスタート!



2種類のファルシ(詰め物)はこんな味!

真っ赤なトマトの中にはサーモンの、シューには豚肉のファルシが! クリーミーで濃厚な味わいがふわっと広がります。



アンリ・ルソー
《リュスマン・ピッシュの肖像》
1893年頃

美容効果のある竹炭ソースをつかったメインディッシュ。 細かな作品の再現にビックリ。

平目とドライトマト、タブナードのミルフィーユ仕立て クスクス添え 竹炭のソース



ココに注目!

一か月の試行錯誤の末、完成したのが、メインの《リュスマン・ピッシュの肖像》。服のボタンはジャガイモ、顔にはナスのへたを使って細かな部分を再現! 黒オリーブのタブナード(ペースト)でいただく、旬の平目とほうれん草は絶品です。



名画には額縁も重要!!

額縁の模様の再現に使われているのが、香草のエストラゴン。スッキリとした味が、しっかりと料理を引き立てます。



アンドレ・ボーシャン《花》
1952年

花びらをあしらった至福のデザート。 どんな味がするんだろう?

クリームフランボワーズにサブレ・ノワゼット 薄いショコラのヴェイス(花瓶)



ココに注目!

贅沢なひと時をしめくくるのは、繊細に花びらが飾り付けられたボーシャンの《花》。チョコレートで作られた花瓶まで食べられる、満足まちがいないの一品です。甘酸っぱいフランボワーズのムースとサクサクのサブレで、ほっと一息。



シュクレ・フィレ(糸飴)はこんな食感!

うっすら緑のシュクレ・フィレはバリバリ! 口の中でスッと溶けていきます。時間が経つとしばんでしまうので、お早め!

展覧会「アンリ・ルソーと素朴な画家たち」×ホテルプラザ勝川 美×食 スペシャルランチ

～3/18(日) 11:30～14:30 (ラストオーダー 14:00)
| ホテルプラザ勝川 カフェレストラン ソレイユ (JR勝川駅前)

1名様 ¥2,800 (サービス料・税金込み) 1日限定10食
ランチメニュー: オードヴル・スープ・メインディッシュ・デザート・パン・コーヒー
※PiPi会員5%OFF+展覧会半券をお持ちの方5%OFF=両方使えるダブル割で10%OFF
※スペシャルランチをご注文の方に、展覧会の関連グッズをプレゼント!(数量限定、先着順)



松竹大歌舞伎
演目発表!

「鳥居前」「道行初音旅」「川連法眼館の段」三幕一挙上演

義経千本桜の クライマックス



国立劇場所蔵

「義経千本桜」・忠信のこと

てきすと おくだ健太郎

「義経千本桜」は、もともとは人形浄瑠璃のために書かれたお芝居で、五段構成の大作です。平家との合戦での大活躍にもかかわらず、兄の頼朝にうとまれて流転の人生をたどる義経や、倒された平家の武将など、さまざまな人物が描かれます。

その中から、義経の家来、忠信の登場する幕に焦点をしばって上演していくのが、ことしの七月の歌舞伎公演です。

佐藤忠信 一兄の継信と共に、義経の頼もしい家来として、「平家物語」などにもその武勇がつけられているこのお

侍に、お芝居の世界は、ユニークな設定をほどこしています。

キツネが、こっそり、忠信に化けているのです。ほんものの忠信がいくさでの傷がもとで病気になり、郷里で静養している間に、そっくりに化けてなりましていたのです。

義経は、兄との対立を避け、京をはなれて九州へ逃れようとします。その際、いとしい静御前を危険なめにあわせてくれないので、彼女の同行を許しません。

伏見稲荷の鳥居の前で、泣く泣く義経と別れる静。その警護役を忠信がつとめ

ることになります。そして、宮中から贈られた初音の鼓、という鼓を、義経は静にたくします。

—この時点で、じつはもう、キツネが忠信に化けているんです。だから「鳥居前」と呼ばれる最初的一幕で、すでに、忠信はどこかに、キツネっぽさをただよわせています。

さて、義経の九州行きは、けっきょくうまくいかず、彼は、桜の名所として名高い、奈良の吉野山に身を隠しました。

それを知った静は、会いたさ、愛しさにつき動かされ、自分も吉野山に向かいます。初音の鼓をたいせつに携えています。そして、もちろん忠信も——つまり忠信に化けたキツネも——一緒です。

この忠信が、初音の鼓のことを、たいそう気にしている様子。静が鼓を鳴らす

と、うっとり聞き入ったり、姿をくまらしたりまた現れたり、頬ずりをするように鼓を抱きかかえたり。やたら「挙動不審」なのです。

どうやら、キツネと初音の鼓とのあいだに、ふかーい関係があるらしい。舞踊じたての一幕「道行初音旅」と、義経がかくまわれている「川連法眼館」とで、すべてのナゾが解き明かされていきます。キツネが忠信に化けたのは何故か？ とても純粋な、思わずほろりとさせられるような理由があるんです。当日のご観劇で、じっくりと味わって下さいませ。

(おくだ・けんたろう 歌舞伎ソムリエ)
1965年、愛知県生まれ。大学入学で上京後、歌舞伎に会い熱中、立ち見席に通いつめる。現在、歌舞伎イヤホンガイド解説者。東京工業大学世界文明センターの講師。御園座若鯨カブキクラブなどで、歌舞伎の楽しさを伝える活動中。



この案内します!

松竹大歌舞伎

7/14(土) | 春日井市民会館
午前の部 11:30~ / 午後の部 16:00~ (開場は30分前)

[チケット情報]

- PiPi会員先行予約はがき締切日 3/9(金) (必着)
※専用はがきは1月末にPiPi会員(会員期限が2/29以降の方のみ)に送付
- 一般電話先行予約日 3/16(金) 10:00~17:00
- インターネット先行予約日 3/16(金) 18:00~24:00
- 一般発売(窓口・電話・インターネット) 3/22(木)~

[料金] 一般 SS席¥7,500、S席¥6,500、A席¥5,500、B席¥4,500、C席¥2,500
PiPi会員は上記金額の¥500引き 全席指定、当日券同額、3歳以上有料



尾上菊之助

尾上菊五郎

落語で楽しむ義経千本桜の世界

第76回かすがい芸術劇場 案内人 歌舞伎ソムリエ・おくだ健太郎
林家正雀 歌舞伎落語「猫の忠信」



6/10(日) 14:00~ (開場は30分前) | 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

[チケット情報] PiPi会員電話先行予約日3/17(土) 一般発売3/24(土)
[料金] ¥2,500 PiPi会員¥2,200 全自由席、当日券同額、未就学児不可

★歌舞伎チケット購入者には、¥500キャッシュバックあり!!

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約、チケットぴあ(Pコード418-424)



林家正雀



真樹ナビ vol.02 

みんなで踊ろう！ かすがいうずうず音頭



ダンサーの森下真樹さんが、「かすがいうずうず音頭」を作ってくれました。春日井のいろんな地名、行事、名物が歌にこめられた、誰にでも踊れる楽しい音頭です。その音頭をみなさんにも覚えて踊ってほしいなあ〜、ということで！森下さんと春日井市全域をまわり、プロモーションビデオを作りました。制作はかすがい市民文化財団のスタッフたち。撮影地で出会った人たちにも登場していただきました。「かすがいうずうず音頭」、どんな映像になったでしょう？公開はかすがい市民文化財団ホームページで2月上旬を予定！2/26(日)の公演日まで振付を覚えて、あなたも一緒に踊ってみましょう。うずうずしている人、集まれ〜！

森下さんが各地で作る「うずうず音頭」。春日井は、茅野(長野県)、南郷(青森県)に続き、3作目。「行く先々の土地をいろいろまわることで、親しみがどんどん湧いてくるんです。来てよかったーって。自分にとっても、その土地にとっても、何か記録が残せるといいなあ、と思って、始めました」とのこと。



第74回かすがい芸術劇場
森下真樹ダンス公演「これって、ダンスなの？」
 2/26(日) 18:00〜(開場は30分前)
 | 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール、ほか
 [料金] ¥2,000 PiPi会員¥1,500 全自由席、当日券同額、未就学児不可
 [取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約、チケットぴあ(Pコード417-180)
 [プログラム] 森下真樹オリジナル作品、WS作品、かすがいうずうず音頭、ほか
 [助成] 財団法人地域創造(平成23年度公共ホール現代ダンス活性化支援事業)

公演で作品発表！真樹バンバンと一緒に、うずうず踊りましょう。
森下真樹 うずうずダンスワークショップ in 春日井
 2/21(火)〜23(木) 18:30〜20:45、
 25(土) 18:00〜20:30(リハーサル)、26(日) 18:00〜20:00(本番)
 [対象] 上記日程全て参加できる方。小学3年生以上の老若男女で身体を動かしたくてうずうずしている方ならどなたでも可。(ダンス経験不問、初心者大歓迎!!) [参加費] 無料 [定員] 30名 [参加方法] 〒住所・氏名・年齢・性別・電話番号を記入の上、FAX、メール(ws7@lib.city.kasugai.aichi.jp) 件名: 森下真樹ダンスWS)にて申込み。
 [締切] 2/19(日) ※定員に達し次第、締め切ります

人間の複雑な心のゆれが歌に染みこみます



かけがいのないひとへ、願いを歌にのせて
text. 映画担当 多門祐子

実在する韓国の刑務所の合唱団をモデルにした本作品。刑務所の中で出産した主人公・ジョンへは同じ雑居房の在監者たちを中心とする人々と合唱団を結成します。歌を通してジョンへをはじめとする在監者たちは心を通わせ、生きる希望を見出していきますが、刑務所内で子どもを育てることが出来るのは18ヶ月と決められています。やがてジョンへには、可愛い盛りの子どもの別れの時が訪れます。

ジョンへの子どもへの愛情を中心としたお話ですが、在監者にも家族があり、それぞれに複雑な事情を抱えています。罪を犯したが故に「会いたいけど会えない」切なさや悲しさを抱えて、彼女たちは歌うのです。美しい女声合唱の歌声と、誰もが持つ家族への愛情に共感し、見る者の涙を誘います。

テンポの良い展開に加え、畳みかけるような感動シーンの連続にノックアウト。韓国映画恐るべし、です。



かすがい日曜シネマ「ハーモニー 心をつなぐ歌」
| 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
3/25(日) ① 10:30~ ② 14:00~ (開場は30分前)
【料金】 ¥900、ペア ¥1,700 (ともに当日 ¥200増)
PiPi会員 ¥800、ペア ¥1,500 (ともに当日同額)
全自由席、上映時間指定、3歳以上有料
【取扱い】文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約
監督:カン・テギョ 韓国映画 2010年/115分/カラー・日本語字幕

いい映画、お先に拝見

落語まめマメ知識

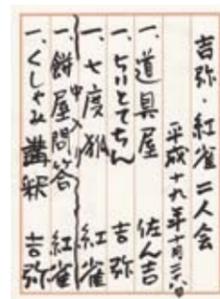
これが当館のネタ帳。文化フォーラムでの初高座は春風亭昇太さん。



落語の演目っていつ決まるの?
text. 落語好き 米本一成

劇場には、噺家さんが高座で披露した演目を書き記しておく『ネタ帳』というものがあります。このネタ帳、何に使うかという、これまでに当地で披露された演目を参考に「さて今日は何を喋ろうか」と噺家さんが演目を決めるためにあるのです。噺家さんはネタ帳を高座にあがる数時間前にみるので、それまで何を喋るか決まっていなかったりすることがほとんど。場合によっては高座にあがってお客さんの雰囲気を見てから演目を決めることも多いとか。例えば、男性のお客さんが多いときはちょっと色っぽい噺、お子さんが多いときは『寿限無』や『饅頭怖い』なんて具合に。ギリギリまで演目を決めず、場の流れや雰囲気を大切に落語は、究極のライブとも言えますね。

4月の芸術劇場で桂よね吉師匠が何を喋るのか、当日高座にあがるまで誰にもわかりません。もしかしたら、噺をする師匠本人にも。羽織を脱ぐ前に枕(本題に入る前の小話)を聴いて演目がわかった方は立派な落語通。通っぽく「○○○だねえ」なんて心の中で呟いてみてください。



よね吉さんの兄弟子・桂吉弥さんは当館で「ちりとてちん」を披露。ちなみにNHK連続テレビ小説「ちりとてちん」でおふたりは共演も。



第75回かすがい芸術劇場 桂よね吉 独演会
| 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
4/22(日) 14:00~ (開場は30分前)
【料金】 一般 ¥2,500、PiPi会員 ¥2,200
全自由席、当日券同額、未就学児不可
【取扱い】文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約、かすがい市民文化財団オンラインチケット、チケットぴあ(Pコード417-559)

昔、祖母に三味線を習い1日で挫折したのは、この私です...



津軽三味線ブーム来たる?!
text. マンガ大好き 小松淳子

今、世間で注目されている津軽三味線の漫画があります。「このマンガがすごい! 2012」の男編ランキングで3位に入った『ましろのおと』。作者の羅川真里茂さんは長く少女漫画界で活躍してきた女性の漫画家さんなので、むしろ女性の方が読みやすい作品だと思います。

内容は、津軽三味線奏者である澤村雪が青森から東京の高校に転校し、三味線初心者の仲間たちと、津軽三味線甲子園を目指す...という、青春ストーリー。3巻から、津軽三味線の奏法や歴史などが織り込まれ、作品により深みを与える展開となっています。

3巻の帯には上妻宏光さんが、4巻の帯では吉田兄弟さんが登場。最新の5巻には、津軽三味線CDが付いた特装版も! 漫画と音楽というメディア・ミックスの展開は『のだめカンタービレ』を彷彿とさせます。近いうちに、大きな津軽三味線ブームがやってくるかもしれませんね。漫画を読むと、生演奏の迫力が倍増すること受け合いです。



上妻宏光 藤原道山 Concert “和心伝心”
3/10(土) 18:00~ (開場は45分前) | 春日井市民会館
【料金】 一般 ¥4,000、PiPi会員 ¥3,500
全席指定、当日券同額、未就学児不可
【取扱い】文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約、かすがい市民文化財団オンラインチケット、チケットぴあ(Pコード154-472)、ローソンチケット(Lコード46333)、e+(イープラス)、名鉄ホールチケットセンター

マンガで、予習

昭和の名作を、見る

喜劇王といえど、実はマジメな名俳優



無責任男≡正義のヒーロー!?
text. 名作シネマ担当 後藤友介

映画『ニッポン無責任時代』は、「そんな出世あるかい!!(笑)」といったツッコミどころ満載ながらも、植木等のカリスマ的パワーとテンポよく展開するスピード感で、日頃の疲れが吹っ飛ば、コメディ映画の傑作です。

さて、主人公の平均。一匹狼の如く無責任行動で周りを混乱させますが、いつしか仲間を増やし出世していきます。実は彼、無責任というよりも、立ち回りがうまいんです。周りを巻き込みながらも困った人のために一肌脱ぎ、最終的にはしれっと丸く収めてしまう。そこはかかない“正義のヒーロー像”が垣間見られます。それを無責任風味に演じられるのが、“植木等”流。なかなか出来るものじゃありませんよね。



名作シネマ鑑賞会 | 3/6(火)~8(木) | 春日井市民会館
【料金】 一般 1作品 ¥500、1日券 ¥1,200、回数券(4枚綴り) ¥1,600
PiPi会員 1作品 ¥450、1日券 ¥1,000、回数券(4枚綴り) ¥1,300
全自由席、当日券同額、中学生以下無料
【取扱い】文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約

	10:00	13:00	15:00
3/6(火)	無責任	本日休診	駅前旅館
3/7(水)	女は男の	無責任	本日休診
3/8(木)	駅前旅館	女は男の	無責任

映画の合間にちょっと一息
餅産さんのいちご大福
お弁当(鑑賞日の2日前までに引換券 ¥1,000 購入)
温かい飲み物サービス
ご用意してお待ちします!

「ごちそうさま」から紡がれる、たくさんのお話

自分史とは、日々の何気ない生活の中から紡ぎだされた、たった一つの大切な物語のこと。今年の自分史フェスタは「食」の風景がテーマ。数々の思い出の味を、朗読で、演奏で、おしゃべりでお届けします。自分史フェスタを通して、あなたの「食」の風景も思い出してみてください。

紺野さん、思い出の味、おしえてください。

春日井に住む義母がいつも送ってくれる、手作りのお惣菜、おふくろの味のおせちを思い出します。今回、朗読する作品にも、「母の味」を綴った物語があります。大切に読ませていただきますので、是非、聴きにいらしてくださいね。



読み手 紺野 美沙子

原さんの思い出の味

村祭りの夜の「豚汁」。大鍋から立ち上る湯気が今でも目に浮かびます。



司会(東海ラジオアナウンサー) 原 光隆



市民会館のロビーで、ホッと一息♪



市内で活躍する自分史・エッセイサークルの活動を紹介します。執筆に興味をお持ちの方は、コチラで活動内容を訪ねてみては。



カフェ百時のお店の片隅にある雑貨コーナーが特別出店。地域の作家さんが制作した、かわいい食器やアイテムが並びます。

「食べること」が、直接的に生命につながっていた時代のこと。「食べること」を、豊かにしてくれた、大切な道具のこと。「食べること」で、気づかされた家族との絆のこと。
「温かく」て「おいしい」物語を、めしあがれ。

自分史フェスタ プログラム

朗読「ごちそうさま」のドラマ

朗読作品

「においの中に生かされて」戸澤三三子
「戻ってきた土鍋」前原有紀子
「卵焼きが食べたい」菱田木綿
「西瓜のデザート」小山西克己

朗読伴奏 南悦子(ヴァイオリン) さきはらなおみ(ピアノ)



カフェタイム

第1部の朗読では、執筆者も登場します。生演奏もお楽しみに♪

地域のお便りエプロン・トーク

紺野さんの「ごちそうさま」のドラマ
紺野さんが読む「食」の風景は、思い出の味とともに、どのような物語で綴られるのでしょうか。

地域のお便りエプロン・トーク

カフェ百時のオーナー伊佐治さんをゲストに、春日井の「食」の風景をひもときます。

地域のお便りエプロン・トーク出演
カフェ百時
伊佐治 素美



17年前に通っていた岡崎にある小さな喫茶店のおばあちゃんの味。今も、これからも、私のお手本であり「目標」です。

伊佐治さんの、思い出の味

読み比べる、三世代の「食」の風景。作品集が完成しました!



「食べることは生きること」・「食べることは想うこと」・「食べることは楽しむこと」の三章で綴られる本編。フェスタで朗読される作品はもちろん、三世代に渡る様々な「食」の場面が収録されています。「食」を取り巻く環境は変化しつつありますが、いつの時代でも共感できる、心に残る物語をオムニバス形式で。

[定価] ¥1,000 (税込) [取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約
[編集・発行] かがす市民文化財団 [仕様] 単行本232ページ、全40作品収録

日本自分史センター Presents 自分史フェスタ vol.13
「食」の風景 ～紺野美沙子が読む、「ごちそうさま」のドラマ～

2/12(日) 13:30～(開場は30分前) | 春日井市民会館 | 入場無料

【協力】東海ラジオ放送株式会社 【後援】春日井市

※この模様は、2/19(日) 11:00～11:30東海ラジオ(1332kHz)で放送します。



フェスタご来場の方へ、1日だけの特別講座のご案内!

①エッセイ講座 ②自分史入門講座

| 文化フォーラム春日井・文化活動室 | 無料

①3/11(日) 14:00～ ②3/16(金) 10:00～

【講師】①芳賀倫子(シナリオライター、日本自分史センター相談員)

②加藤迪男(日本自分史センター講師)

COMING SOON! >>>

速報! これからのイベントも要注目! >>

6月 山下洋輔 スペシャル・ビッグバンドコンサート 2012



6/24(日) @春日井市民会館

前々回・前回ともにスタンディングオベーションに包まれた、山下洋輔スペシャル・ビッグバンドコンサート。3回目となる今年は、「のだめ音楽会」の指揮者としてお馴染み、茂木大輔(NHK交響楽団首席オーボエ奏者)がオーボエで参戦決定!! クラシックの名曲「展覧会の絵(ビッグバンドで初披露)」、「ボレロ」などがビッグバンドで奏でられるスペシャルコンサート、必見です。

8月 ミュージカル「王様と私」
松平健、紫吹淳、はいだしょうこ ほか



8/9(木)夜公演、10(金)昼公演 @春日井市民会館

名曲「Shall We Dance?」を生んだのは、トニー賞受賞のミュージカル「王様と私」。その名作が春日井にやります。これまでに200回以上シャム王役を演じた松平健が、円熟した王様を22年ぶりに演じます。アンナ先生役に元宝塚トップスター 紫吹淳、可憐なタブチム役に はいだしょうこ(平田愛咲とダブルキャスト)、振付の真島茂樹は劇中劇のサイモン王役でも出演します。豪華キャスト&スタッフでお届けするミュージカル、夏休みに、ご家族でお楽しみください。

9月 高知県立美術館所蔵
写真家 石元泰博 一時代を超える静かなまなざし

9/8(土)～10/11(木) @文化フォーラム春日井・ギャラリー

デザイナーに最も影響を与えた日本人写真家、石元泰博。若き日にシカゴで暮らし、バウハウスの流れをくむインスティテュート・オブ・デザインで写真を学び、学生時代にモホリ・ナギ賞を2回受賞した石元泰博。「シカゴ」「桂離宮」「伊勢神宮」「シブヤ、シブヤ」などの代表作が、オリジナルプリントで春日井にやります。日本を代表する写真家・石元泰博の作品を間近で見れる、絶好の機会です。



由紀さおり・安田祥子 ファイナル・ツアー

9/9(日) @春日井市民会館 世界的に注目の集まる、由紀さおり。姉妹での最後のツアーが、春日井へ!

10月 春日井まつり前夜祭 「POPSに恋をして♥」
サーカス、渡辺真知子、庄野真代

10/19(金) @春日井市民会館

夜コン「弾!打!吹!打!」

12/2(金) 19:00~20:00 文化フォーラム春日井・交流アトリウム



↑珍しい打楽器を紹介いただきました!

←パールの楽器、カホン。脚に挟んで演奏します。

来シーズンの昼コン&夜コンは、4/7(土)再開です!

ちなみに昼コンは、こんな感じ→



第73回かすがい芸術劇場 サエラ ノスタルジックコンサート

12/17(土) 14:00~16:00 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール

●心が洗われる歌声で、力強く感動的でした。(60代・女性・春日井市) ●民謡、素敵です。あまりコンサートでは聴くことがないので、新鮮でした。 ●ピアノの伴奏と美しい澄んだ声がとても良かった。(70代・女性・春日井市) ●普段の忙しさを忘れさせていただいた、すてきな時間でした。(50代・女性・一宮市) ●ジャンルもいろいろで素敵でした。民謡も聴きやすくて感心しました。(70代・女性・犬山市)



voice

お客さまの声、から

あいちアートプログラム 展覧会 高木正勝 in あゆち

12/3(土)~25(日) 10:00~21:00 文化フォーラム春日井・交流アトリウム



↑24&25日に開催した、ワークショップ“うたづくり”。

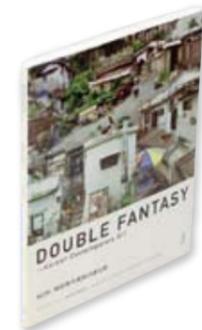
←アトリウムの不思議な穴“くろあな”作品上映中。

隠しつうでも作品上映。→



空間の祝杯 セツ寺共同スタジオとその同時代史

大須商店街から少しはずれた一角に1972年に出現した演劇空間、セツ寺共同スタジオ。本書はセツ寺の25年の軌跡を追うと共に、その周辺で起爆していた演劇・音楽・映像・舞踊の歩みがまとめられています。年表だけでも相当なボリュームですが、執筆陣の“気まざ”がすごい!セツ寺が表現に対していかに自由な場であるかが、ぶんぶん匂ってきます。個人的には、すでに他界されたセツ寺の元顧問が、70年代に手がけた伝説の公演、山下洋輔&藤赤児「DANCING 古事記」を綴ったくだりに、圧倒的な時代の混沌を感じました。(A.Y.)



ダブル・ファンタジー 韓国現代美術展

本書は3年前、丸亀市猪熊弦一郎美術館で開催された展覧会「ダブルファンタジー：韓国現代美術展」のカタログ。ページを開くたび、韓国で一時押し手の若手美術家15名による、パワフルで刺激的な彫刻、絵画、写真、映像、インスタレーションが飛び込んできます。作品に共通するのは、相反するものが共存する二重性(ダブル)と、その矛盾の中で、自身を見失わないために必要なファンタジーが表現されています。日韓を代表するキュレーター 2人のエッセイと作家15名の紹介を読みつつ、新たな韓流文化をひも解いてはいかがでしょうか。(R.M.)

どうせダンスなんか観ないんだろ!? | 乗越たかお

ヤサぐれ舞踏評論家・乗越たかおが、演劇雑誌「シアターガイド」とダンス雑誌「DDD」で連載したコンテンツラリーダンスに関するコラムをまとめた本書。刺激的なタイトルですが、筆者が訪れた延べ20カ国のダンスフェスや、日本の若手ダンサーの公演を積極的に取り上げ、丁寧にレポートしています。砕けた語り口でダンスシーンをパッサパッサと斬っていく乗越節は痛快!「ダンスをもっと面白くしたい!」という著者の熱い思いがビシビシ伝わってきます。(A.K.)



最近、こんなの読んでます

STAFF SELECTION PLAZA REVIEW

→ 文化フォーラム春日井・文化情報プラザで閲覧できます。ぜひ、どうぞ。

information from PiPi

提携ショップ オリジナルメニュー、そくそく!
上妻宏光 藤原道山コンサート
タイアップ企画

今回はオリジナルの和スイーツ。ご賞味ください!



パティスリー・メリ・メロ
オーナーパティシエ
塩田秀樹さん

邦楽にちなんで創作された、オリジナルの3つの“和スイーツ”。上妻宏光×藤原道山コンサート会場のロビーで販売します!昨夏の塩谷哲コンサート“塩スイーツ”は完売の人気ぶり。小腹を空かせてご来場ください!

和心 -甘納豆ケイク-



“黒豆”と“かのご豆”入りの、抹茶マーブルケイク

ほろほろクッキー



米粉を使用した、“きなこ”と“抹茶”の和風クッキー

桜の生キャラメルショコラ



ほんのりとした桜の香りが春らしい、ショコラキャラメル

パティスリー・メリ・メロ

旭町2-19 ■0568-33-8325
10:00~20:00 火曜定休

糸編集後記

昨年末、嬉しいニュースが飛び込みました。文化・芸術の振興に貢献した公立文化施設を顕彰する地域創造大賞(総務大臣賞)に、春日井市民会館と春日井市市民会館(文化フォーラム春日井)が選ばれたんです!その授賞式が1/16(月)に開催され、伊藤太 春日井市長とかすがい市民文化財団 山下興亜理事長が出席しました。全国に2,000以上ある公立文化施設

の中で62番目の受賞となったポイントは、隣接する市民会館と文芸館の活力ある運営を評価されたもの。

文化フォーラム春日井・アトリウムでの昼涼みプロジェクト、屋上庭園でおこなったコンサートなど、市民のみなさんが利用する公立文化施設の可能性を、まだまだ開花させていこうと思います。これからも、どうぞご期待あれ!(A.Y.)



INFORMATION

かすがい市民文化財団 主催事業 チケットの電話予約方法

1. まずは、お電話ください

PiPi会員の方 (受付時間 9:00 ~ 17:00)

PiPi会員専用 先行予約電話

☎ 0568-85-6078

※会員電話先行予約日(または期間)のみ、先行予約を受け付けます。
※先行予約日が会員期間内であれば、先行予約が可能です。また、チケット購入日が会員期間内であれば、割引特典が受けられます。

一般のお客様 (受付時間 9:00 ~ 20:00)

チケット電話予約

☎ 0568-85-6868

※チケット発売初日のみ、10:00からの受け付けとなります。

- 全席指定チケットを電話予約される場合は、座席の指定ができません。
- 文化フォーラム春日井・文化情報プラザにて直接購入される方のみ、座席の指定が可能です。

2. チケット受取り方法を選択してください

A:文化フォーラム春日井 2F・文化情報プラザにてお受取り

チケット料金とお引換ください。お取り置き期間は、予約日から2週間以内です。(PiPi会員先行予約の方は、一般発売日以降となります。)

B:代金引換にて、ご自宅でお受取り

郵便配達にて、ご自宅にチケットをお届けいたします。
チケットと引換えに配達係員に指定の代金をお支払いください。

※注文後、約1週間程度で届きます。日にち・時間の指定はできません。
※チケット代金の他に、代金引換手数料として500円程度をご負担していただきます。

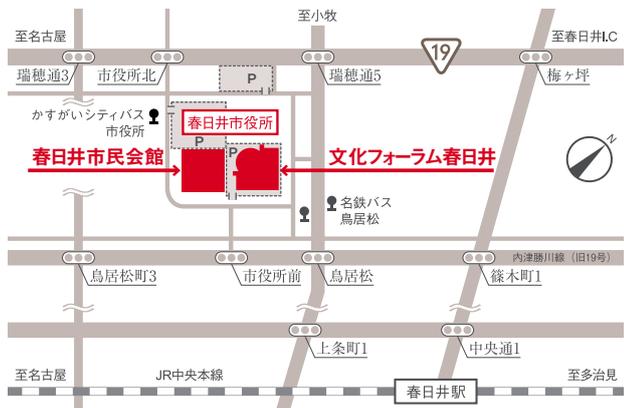
チケット発売初日の販売時間について

- 文化フォーラム春日井 2F・文化情報プラザ 窓口販売 9:00 ~
 - かすがい市民文化財団 電話&インターネット予約(代金引換含む) 10:00 ~
 - チケットぴあ/スポット&電話予約(Pコード予約) 10:00 ~
 - /コンビニ(サークルK、サンクス、セブンイレブン)での直接購入 10:00 ~
 - ローソンチケット/電話予約(Lコード予約)&ローソンでの直接購入 10:00 ~
- ※公演によっては変更になる場合がございますので、お問合せください。

※前売完売の場合、当日券はありません。
※友の会PiPi会員価格でのチケット購入および車イス席の取扱いは、文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、および電話予約のみとなります。(チケットぴあなど、その他のプレイガイドでの取扱いはありません。)

文化フォーラム春日井 / 春日井市民会館
<http://www.lib.city.kasugai.aichi.jp/zaidan/>

486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44
[休館日] 月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日~1月3日



交通のご案内

- JR中央本線「春日井駅」北口より
名鉄バス「鳥居松」下車、西へ徒歩2分 / 徒歩 北へ約20分 / レンタサイクル(無料)で約5分
- かすがいシティバスでお越しの方
「市役所」下車、南へ徒歩2分

※駐車場は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関や乗合せをご利用ください。

津軽三味線の大家
初代 竹山の音色を継承

高橋竹童
津軽三味線 演奏会

5/6(日) 14:00 ~ (開場は30分前)
文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
2/4 発売開始 [料金] ¥3,000 PiPi会員¥2,700 全席指定、未就学児不可
[主催・問合せ] ミュージック・フィールド 052-752-2346

若いピアニストによるピアノ協奏曲

夢、はばたき

5/19(土) 14:00 ~ 春日井市民会館
[料金] ¥2,500(当日¥3,000) PiPi会員¥2,200 全自由席、未就学児不可
[主催・問合せ] ムジカエルベ(和田) 090-1783-2711 2/3(金)より発売

自分史は、読むより書いた方がオモシロイ。

心の中にある、大切な記憶や
体験を本にしませんか。
自分史、エッセイ集や
郷土史、詩歌集、写真集など、
原稿の内容とご予算にあった
本作りのお手伝いをします。
お気軽にご相談ください。
(担当: 小山・寺西)

ARM corporation
株式会社あるむ

〒460-0012 名古屋市中区千代田三丁目1-12 第三記念橋ビル3F
TEL.052-332-0861 FAX.052-332-0862
E-mail:arm@a.email.ne.jp http://www.arm-p.co.jp

出版案内進呈します。

今までよりも“今”が最高でありたい。

各種イベント・舞台の裏方をプロがサポート
照明・音響・企画制作・・・なんでもご相談ください。

企画制作 各種演出 照明 音響 ホール管理

JS 株式会社ジェイエス
〒463-0070 名古屋市守山区新守山922番地
tel.052-795-9331 (10時~18時/平日のみ)
<http://www.js1979.co.jp>

文化フォーラム春日井
春日井市民会館

の催事用看板制作を
お手伝い致します。

ECHOL 株式会社 エコール
tel.0568-83-3807
fax.0568-83-3810